

地域提案型

平成23年度 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	タイ
2. 事業名	スリン県におけるコミュニティ・キャパシティ開発による地方開発プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	対象地域スリン県においては、人々の生活の向上のためにコミュニティ開発事務所が中心となりコミュニティ能力向上による持続可能な開発の促進に努めてきた。特に、近年、一村一品（OTOP：ワン・タンボン・ワン・プロダクト）運動等による生産活動、経済活動に注力してきた。しかし、このような努力にも関わらず、都市と地方の格差は拡大傾向にあり、多くの働き手がバンコクなど都市部に職を求め、地方開発の大きな障害となっている。特に有効な生活向上手段を持ち得ない貧困層においてその影響が大きい。このような背景の下、従来の生産主体のアプローチの限界が明らかになり、地方開発の促進のために地方により適した包括的な開発アプローチの導入・実践が求められている。
4. プロジェクト目標	地方政府等の地方開発実施機関の「分散・体験型見本市（オンバク）」や「一村一品運動」等の地方開発体制の整備と実施を支援し、地域コミュニティの生産者やサービス提供者（グループ）の生活の向上と自信を確保する。
5. 対象地域	タイ：スリン県
6. 受益者層（人数規模）	スリン県地域コミュニティの生産者やサービス提供者（約100グループ）
7. 活動及び期待される成果	<p><成果></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域資源を活用した分散・体験型見本市（オンバク）の開催 2. 見本市で選定された商品及びサービスに対する技術支援 3. 商品及びサービスのマーケット・プレースの構築 4. 事業経験の共有化体制の整備 <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域資源を活用した分散・体験型見本市（オンバク）の開催支援 2. 見本市で選定された商品及びサービスに対する技術支援体制整備支援 3. 商品及びサービスのマーケット・プレースの構築支援 4. 事業経験の共有化体制の整備支援
8. 実施期間	2012年5月～2015年3月
9. 事業費概算額	30,000千円
10. 事業の実施体制	立命館アジア太平洋大学が、スリン県コミュニティ開発事務所、郡コミュニティ開発事務所（内務省コミュニティ開発部）を中心となるカウンターパートとし、市町村にあたる行政区（タンボン）と協力しつつ実施する。
II. 実施団体の概要	
1. 団体名（提案自治体）	立命館アジア太平洋大学（大分県別府市）
2. 対象国との関係、協力実績	立命館アジア太平洋大学（APU）は、JICA研修プログラムによって、「分散・体験型見本市（オンバク）」や「一村一品運動」等の大分県、また、別府市等で培われた地方開発経験に基づく「コミュニティ・キャパシティ・ディベロプメントによる地方開発アプローチ」の移植に努めてきた。2010年度にはフォローアップを行い、スリン県における地方開発アプローチ導入の道筋をつけた。